

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 5年 1月19日

学校法人頭陀寺学園 若林こどもの園

参加者：他園施設長、元小学校教諭、元幼稚園教諭、保護者代表、園長、理事長、主幹保育教諭

1. 本園の教育目標

明るく たくましく 賢く 感性豊かな子の育成

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ①失敗への対処
- ②会議への参加姿勢
- ③組織の風通し

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	失敗をそのままにせず、成功に導けるよう視野を広げていく。また、失敗を謙虚に受け止め、積極的に改善点を見つけていく。	B	保育や保護者支援等の振り返りを大切に行うことで次につなげる力にできた
2	予め、自分の考えをまとめておき、自分の思いを発言できるようにしていく。	B	5w1hを意識することで話しやすくなった
3	組織全体がコミュニケーションを多くとり、信頼関係を築いていけるよう努力する。また、良いところも悪いところも話し合える環境を築いていく。	B	細目にポイント会議を設け、疑問点があればすぐに話し合いを持つことがスムーズになった

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	自分の思いや考えを反映させることができる場を見つけ一人ひとりがそれぞれの立場で活躍できた

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	持ち場を離れるときのルール	持ち場を離れる時は、必ずメンバーに必要事項（離れる目的・時間、行き先等）を伝えるなどチームの一員としての自覚があるか。
2	美化意識	園舎内外のゴミや汚れに一早く気付き自分や周りを巻き込み掃除しているか。
3	状況把握	判断に迷う場合は自分だけで結論を出さず、同僚や 上位職に状況と自分の意見を添えて相談している。

6. 学校関係者評価委員会の評価

評価	
A	保育教諭が子どもの目線に立っていて好感が持てる。働いている保護者が多く、少ない時間の中でもコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られ、職員同士も同様に覗える。今後も教職員の“やる気”を出せるような環境づくり努めていただきたい。